

| 教 員 | カテゴリー | 教員の専門領域 | 講義タイトル | 講義概要 | |
|-------|----------------|-----------------|--------------------------------|--|--|
| 信太 光郎 | 哲学・倫理学・思想 | 哲学 | 「もの」とは何か ～『檸檬』を哲学する～ | 哲学は他の学問と違って複雑な問題や珍しい現象に取り組んだりはしません。むしろ身の回りの当たり前のことを丁寧に考えていこうとします。なぜならその当たり前が実は当たり前ではないのではと疑っているからです。たとえば「もの」とは何でしょうか。当たり前すぎてわたしたちが普段ほとんど気にもとめない「もの」の意味を、梶井基次郎の名作『檸檬』を題材にとって考えてみたいとおもいます。 | |
| 文 景楠 | | 哲学 | 言語を哲学する | 「言語を学ぶ」ということでまず思い浮かぶのは、英語や中国語といった外国語の習得だと思います。大学では、こういったいわゆる言語学習に加えて、特定の外国語の専門家ではない「哲学者」から言語について学ぶ機会も用意されています。この授業では、言語を学ぶための哲学的アプローチを紹介することで、言語の学びがもつ複雑さと豊かさを伝えることを目指します。みなさんは「言語学」という言葉を聞くときどのような学問を想像するでしょうか。「言語」という言葉自体がとても広い意味を持っており、いろいろな領域と関連しているので、たくさんの方が考えられますね。この授業では、中でも「脳内になんらかの形で存在する言語の仕組み」の解明を目標とした「生成文法理論」を紹介します。 | |
| 岸 浩介 | 言語論・言語教育・外国語習得 | 英語学、生成文法、言語獲得理論 | 言語学にふれてみよう ～生成文法理論の考え方～ | よく「この教材を使えば、幼児が言葉を覚えるときと同じように苦労せずに自然に英語をマスターできます」というような英語教材の宣伝があります。でもこれって信用できるのでしょうか？そもそも私たちは、「幼児が言葉を覚えるように」外国語を習得することが可能なのでしょうか？習得が難しい場合というのはどうしてそうなるのでしょうか？この講義ではこのような問題にアプローチする第二言語習得という研究分野を紹介します。大学での勉強の中心は、学術レポートや論文を書くことです。この講義では、大学入学後に必要とされる文章力とはどのようなものか、またそのような文章力はどうすれば身につくのか、できるだけ具体的に解説します。受験で小論文を書くときの参考にもなると思います。 | |
| 坂内 昌徳 | | 言語学、第二言語習得、英語教育 | 日本人英語の不思議 ～第二言語習得研究への招待～ | 漢字を知っていることは、中国語を学習する上で比類のないアドバンテージになります。しかし、自信と過信は紙一重、なまじ漢字を知っているばかりに、却って足をすくわれたいとも限りません。いわずもがなながら、漢字が日本語であると同時に中国語でもあるからです。日本でも中国でも使用される漢字語彙のことを日中同形語といいます。見た目が同じでも、いえ、同じだからこそ、時にボタンを掛け違えてしまうのでしょうか。 | |
| 佐伯 啓 | | ドイツ語、レトリック | 大学の勉強に必要な文章力 | 大多数の大学生は入学前に外国語として英語を学びます。それ以外の選択肢はないのでしょうか？そして大学に入り第二外国語に触れますが、その学習は多くの場合に苦痛を伴います。すると決まって「第二外国語なんているの？」という疑問が生じます。しかし、ヨーロッパのほぼ全ての国では、そして多くのアジアの国（インドネシア・マレーシア・タイ・ベトナム・韓国など）では、中学ないし高校で「母語＋2言語」の学習の機会が与えられています。こうした現状を踏まえたくて、先の2つの疑問に対する答えとして、開かれた市民社会の可能性を模索する複言語主義を紹介します。 | |
| 塚本 信也 | | 中国語学文学、中国文化史 | 先生に“問題”があります！ ～日中同形語の落とし穴～ | 英語は通常文系科目に扱われますが、実技科目の側面も多くもっています。英語の練習にはスポーツや音楽と同様に、目、耳、口、手など体を使う必要があるからです。また英語を聞いたり読んだりする時、私たちの脳の中ではいろいろな活動が起こっています。どうしたら単語や文法を覚えられるのか、そして覚えた単語や文法を、必要な時にすばやく思い出して使えるのか。この講義では、外国語学習を体や脳との関係から考えます。 | |
| 宮本 直規 | | フランス語学 | 複言語主義へ | 英語のリスニングは苦手、英語を聞いて理解するなんて無理、と思っていませんか。それは「CDに録音された英語」ばかりを聞いているからです。話している人の顔や姿が見えたら、資料を見ながら聞くことができたなら、英語はもっと分かりやすくなります。本講義では、そのようなリスニングを通して「英語が分かる！」感覚を体験してもらいます。そのあと、リスニング力を伸ばすにはどのような訓練をすればいいかをお話します。 | |
| 渡部 友子 | | 英語教育 | どうすれば英語が身につく？ ～英語学習と体・脳の関係～ | 英語を「聞いて分かった！」を体験する ～CDを使わないリスニング～ | |
| | | | | | |

| 教 員 | カテゴリー | 教員の専門領域 | 講義タイトル | 講義概要 |
|-------|----------|---------------------|--------------------------------|--|
| 津上 誠 | 文化論 | 文化人類学 | 虹の色数はいくつか？ ～サピア＝ウォーフ仮説の再検討～ | 例えばボルネオ島（私の調査地です）のカヤン人は「虹は3色に見える」と言います。これには彼らがふだん使う色彩語の数が反映しています。このように、虹が異なって見えるという話は文化の違いを説明するときの好例になるのですが、ただし人間は各々の文化から全く自由になれないわけではないということにも目を向けたいと思います。 |
| | | | 「身内」の文化論 ～核家族をめぐる秘密～ | 私たちに最も近い身内集団は、父と母と子をメンバーとする人の集まり（核家族）です。「なぜこのメンバーなの？」と問われたら多くの人は、「だって父と母で子を作るでしょう？」と答えます。しかし本当のところ、核家族には何の自然の根拠もありません。人は誰とでも身内集団を作れます。このことを異文化の諸例を通じて確かめていきます。 |
| 井上 正子 | | ジェンダー・スタディーズ | 生活のなかのジェンダー | 私たちの社会はさまざまな約束事（規則やしきたり）で成り立っています。「男」であるとか「女」であるとかいう社会的性差（ジェンダー）をめぐる自己認識もまた、この約束事の一部です。この授業では、「イクメン」、「女子力」、「草食系男子」あるいは「肉食系女子」といったことばに注目し、これらの背後にどのような暗黙の了解が隠されているのか、探っていきます。 |
| 下館 和巳 | 演劇・美術論 | 演劇、イギリス文学 | 俳優になってみよう | 言語文化学科のゼミ生たちの中には、舞台を創って卒業していく学生たちがいます。彼らは2年間いろいろなワークショップや訓練、あるいは劇場経験をして、一步一步舞台に近づいていきます。実は恥ずかしがり屋で人前で話すのが苦手な学生が多いんだよ。お芝居やってみたい、でも勇気がないという君が、舞台への一歩を踏み出す時間です。 |
| 巖谷 睦月 | | | 西洋美術史・イタリアを中心とする20世紀の芸術 | 西洋美術史のカケラ |
| 李承赫 | 国際関係 | 国際関係、グローバリゼーション、多文化 | 地球のグローバル化と英語 | 世界中の人々が地球のグローバル化という新しい現実と直面しています。違う文化的背景を持つ人々が同じ社会のなかで共生するためにはどのような工夫が必要なのでしょう。また、伝統文化をグローバル化の中でバランスよく維持することは可能でしょうか。この講義では、英語や他の外国語を学ぶことがどのように役に立つのかについて説明します。 |
| 渡部 友子 | | | 国際理解 | 英語と国際理解はどうつながるか |
| 岸 浩介 | 英米の言語と文化 | 英語学、生成文法、言語獲得理論 | 英語の形容詞と名詞の関係 | 中学校では、「何か温かい食べ物」を英語に直すとsomething hot to eatという風になり、この場合の形容詞hotは前からではなく必ず後ろから名詞を修飾すると習います。ですが、これはそもそもなぜなのでしょう。また、something以外の普通の名詞であっても、the individuals responsibleのように形容詞が後ろから修飾している表現もよく見かけますね。このような表現は形容詞が前から名詞を修飾する表現（the responsible individuals）と違いがあるのでしょうか。この授業では言語学の分野でこういった問題を取り扱った研究を取り上げ、その理由を探ります。 |
| 下館 和巳 | | | 演劇、イギリス文学 | 映画の英語を学ぶ |
| | | | 英語の声 | 私たちが中学校から学んできたのは主に文字の上の英語です。でも、本当は音が一番大事です。音は英語の命！この時間は、アルファベットを声にしてみるところから始めて、シンプルな単語や文を声に出すことで、英語の独特の音、リズム、イントネーションを学びます。英語の真髄に迫るよ。 |

| 教 員 | カテゴリー | 教員の専門領域 | 講義タイトル | 講義概要 |
|-------|------------------|-----------------|---|---|
| 井上 正子 | 英米の言語と文化 | ポストコロニアル文学 | 環カリブ海世界のクレオール文化 | みなさんは、「カリブ海」という地理的名称から何を思い浮かべますか？ ジョニー・デップ主演の大ヒットシリーズ「パイレーツ・オブ・カリビアン」？ 人類史上最速のスプリンター、ジャマイカのウサイン・ボルト？あるいはレゲエミュージック？ この授業では、ヨーロッパとアフリカの文化が出会い、混じり合って生まれたカリブ海のクレオール文化をご紹介します。 |
| 佐伯 啓 | ドイツの言語と文化 | ドイツ語、レトリック | 英語とドイツ語を比べてみる ～英語学習者のためのドイツ語入門～ | 英語の他に、もうひとつぐらい外国語ができるようになりたいと思いませんか？この講義では、中学生程度の英語の知識があればドイツ語はとてめ勉強しやすい言語だということを、発音、文法、語彙などを比較しながら、わかりやすい例を挙げてお話しします。英語力UPにも役立つと思います。 |
| 門間 俊明 | | ドイツ語、ドイツ文学 | 高校生のためのドイツ語入門 | 英語とドイツ語は、歴史的に見て非常に近い間柄の言葉です。両者の歴史をたどりながら、英語を学習した後でドイツ語を学ぶことがいかに合理的か、あるいはこれら二つの言語を学ぶことによって、どのような相乗効果が生じるかというお話をします。慣れ親しんだ英語が、今までとはちょっと違った風に見えるのではないかと、思います。 |
| 翠川 博之 | フランスの言語と文化 | フランス文学、フランス現代思想 | 「まなざし」について ——サルトル『出口なし』を手がかりに—— | 「目は口ほどに物を言う」と言われるとおり「まなざし」は実に様々なことを語ります。フランスの思想家J.-P.サルトルは、そんな「まなざし」を鍵語にして「他者と関係する私」についてたくさんのお話をしました。講義では、サルトルの実存主義思想を紹介しつつ、『出口なし』という戯曲を素材にして、「見られる自分」と「本当の自分」の分裂など「まなざし」のコミュニケーションがはらむ問題についてお話してみたいと思います。 |
| | | | 冠詞とは何か | 日本人が欧米の言語を学んでまず戸惑いを覚えるのは冠詞の存在ではないでしょうか。日本語にはそれが存在しないからです。フランス語でも冠詞の使用は文法的に義務化されていて、種類が3つもあります。講義では、英語との比較にも少しばかり触れながら、その用法を概観してみます。そこから「冠詞がどんな働きをしているのか」が見えてくるでしょう。そんな冠詞の働きを担う文法的要素が、さて日本語には本当にないのでしょうか。 |
| 塚本 信也 | 中国の語と文化 | 中国語学文学、中国文化史 | 外国語としての"漢文" | ウソかマコトか、英語好きに漢文嫌いが多く、漢文好きにも英語嫌いが少なくないような。好き嫌いではなく、得手不得手の結果に過ぎないという声まで聞こえてくるのですが、ならば、なおさら不思議でなりません。どちらも外国語、共通のアプローチが想定できるはずだからです。論より証拠、言語学などの知見に拠りつつ、漢文の世界を現代に開いてみましょうか。 |
| 城山 拓也 | | 中国近現代文学、文化 | 中国語を話してみよう！ 中国、中華圏の文化に触れてみよう！ | 中国語に興味はありませんか？ 中国語は中国だけでなく、台湾、シンガポール、そして世界各地のチャイナタウンなど、広範囲で使われている言葉です。本講義では、実際に中国語を話してみながら、幅広く、そして奥深い中国、中華圏の文化に、ほんの少し触れてみましょう。 |
| | | | 日本人の知らない中国人の精神世界 ～「武侠」（ぶきょう）の魅力～ | 中国の小説、ドラマ、ゲームには「武侠」という超人気ジャンルがあります。日本の時代劇に似ていますが、一味も二味も違います。言うなれば中華風ファンタジーでしょうか。けれど、単なる娯楽にとどまらず、中国、中華圏の社会に多大な影響を与え続けてきました。本講義では、そんな「武侠」の紹介を通じて、日本人の知らない現代中国人の精神世界を覗いてみます。 |
| 楊 世英 | | 中国語コミュニケーション | 面白い中国語と中国 | 中国語の発音は非常に面白く抑揚感があり、まさに歌を唄うような感じです。中国語と漢字を通して中国の悠久的な歴史だけでなく現代の目覚ましい社会変動を見ることもできます。 |
| | 中国人と日本人～その違いと未来～ | | たとえば『三国志』の世界のように鼎立するからこそバランスが取れる、あるいは対立を内包して世界が構成されると考える中国人。他方、対立を好まず、和を重んじる日本人。さて、両者の違いをどう考えたらよいのでしょうか。共に苦労をし、共に乗り越えてこそ、信頼は生まれます。一緒に苦労してみませんか、21世紀を共に生きる我々なのであります。 | |
| | 日本語の発想、中国語の発想 | | 日本語と中国語では漢字を使います。しかし「同文同種」ではありません。日本語の発想・中国語の発想について相違点を探りながら言語学習の楽しさを紹介します。 | |
| 金 永昊 | 韓国の言語と文化 | 日韓比較文化・文学 | 韓国語の言語と文化 | 最近、韓国との交流はますます盛んになりつつあり、経済的にも政治的にも日韓関係の重要性は増えています。本講義では、このような国際環境の中で、韓国に対する総合的な理解を持つことを目標とします。具体的には、韓国の社会・教育・衣食住・世界遺産・伝統と風習・政治と経済・韓流・生活文化・北朝鮮などのテーマについて、統計資料・写真・動画を用いて、日本の文化と比較しながら韓国文化への理解を深めていきたいです。 |
| 金 亨貞 | | 韓国語学、韓国語教育学 | 韓国語と日本語 ～その共通点と相違点 | 一般に韓国語は、日本語を母語とする人たちにとって習得しやすい言語とされています。その理由としては、「語順が日本語とほぼ同じ、日本語と同様に漢字語が多く、似た発音の単語も多数ある」などが挙げられます。しかし、同じ漢字語であっても、表す意味の範囲やニュアンスが違うことも少なくないため、使い方を間違えるととんでもない誤解を招くこともあります。この講義ではそういった例を中心に日本語と韓国語の共通点と相違点についてお話しします。また、「ハングル」と呼ばれる韓国語の文字は、記号のように見えて馴染み深い印象を与えますが、その文字が作られた原理を紹介しながら覚え方を教えます。 |

| 教 員 | カテゴリー | 教員の専門領域 | 講義タイトル | 講義概要 |
|-------|--------------|-------------------------|---|--|
| 佐藤 真紀 | 日本の 言語と文化 | 日本語教育 | 日本語がわからないクラスメイト ～年少者日本語教育の知見から～ | 近年日本の学校に、外国から来た「日本語が母語ではない子ども」が増えています。本講義では、そのような子ども達に注目し、彼らがどのような状況にあり、どのような課題を抱えているのかを年少者日本語教育・バイリンガル教育の知見から捉えていきます。実際に周りにいる「日本語が母語ではない子どもに想いを馳せ、彼らに対してどのようなサポートが必要か、私たちに何ができるかを考えてみたいと思います。 |
| | | | 外国語として学ぶ「日本語」 | 日本語が母語である私たちにとって、普段は日本語のしくみや機能を意識する機会は少ないでしょう。では、日本語を勉強する人たちにとって、「日本語」はどのようなものなのでしょうか。実は、そこには日本人が知らない日本語のルールがあるのです。本講義では、日本語教育の領域から、日本語のルールを紹介し、日本人にとっては当たり前になっている「日本語」の新たな側面を見つけたいと思います。 |
| 日本語学 | | 不思議な日本語の世界 -日本語の音声編- | みなさんは次のようなことを不思議に思ったことがありますか？「こんにち <u>は</u> 」の「は」は「わ」と読むのに、どうして「こんにち <u>わ</u> 」と書かないの？「スノーボード」の短縮語は「スノボ」「スノボー」どっち？みなさんはいつの間にか日本語を自然に身につけ、無意識に使いこなしていますが、実はある規則性に基づいて日本語を話したり、書いたりしているのです。本講義では日本語の音声に関わる身近な例を取り上げながら、日本語の仕組みを一緒に探究していきます。 | |
| 原 貴子 | | 日本近代文学 | 短歌を読む | 短歌は自由に解釈していいのでしょうか。短歌は、一首単体・作者名、初出誌の中の一首、歌集の中の一首というかたちで発表されることが多いと言えます。そのような発表形態の違いや作者の事蹟、言葉の歴史性などといった複数の観点から、寺山修司の短歌「そら豆の殻一せいに鳴る夕母につながるわれのソネット」を対象にして、短歌享受のあり方について具体的に考えていきます。 |